

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

企画展

四国へんろの旅

— 絵図・案内記と道標 —

平成24年2月21日[火]～4月8日[日]

開館時間 / 午前9時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

休館日 / 毎週月曜日(但し、3月5日[月]開館、3月6日[火]休館、3月26日[月]、4月2日[月]開館)

主催 / 愛媛県歴史文化博物館

後援 / 愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛

観覧料 / 大人(高校生以上) : 300円(240円)、小中学生・65歳以上 : 150円(120円)

※()内は20名以上の団体料金。

※会期中、納経帳を提示されたお遍路さんは、通常料金の半額料金となります。

※他にお得な常設・企画展共通券もあります。



小亀博「四国霊場四十五番海岸山岩屋寺(四国霊場案内絵図)」(個人蔵)



四国遍路絵図(個人蔵)

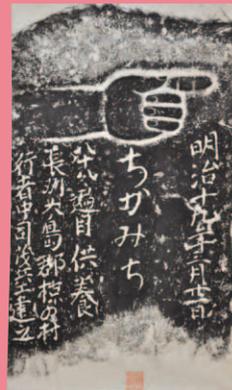
弘法大師空海の修行した霊跡を巡拝する四国遍路は、今なお多くの人をひきつけてやみません。四国遍路が庶民に広がったのは江戸時代。以来、遍路を対象とした絵図や案内記、道標などが数多く誕生しました。

本展では、館蔵資料に加え、公開されることが少ない個人所蔵の貴重な四国遍路資料の中から、四国遍路の旅へ誘った四国遍路絵図や案内記、伊予の遍路道沿いに建てられ、歩き遍路を見守ってきた遍路道標(標石)を特集します。なかでも南予初確認となる江戸時代の真念の道標は初公開となります。また、絵馬や古写真などに記録された四国へんろの姿や、四国遍路の魅力を描いたアート作品も紹介します。

伊予路の春は、いざ、レキハクで四国遍路の歴史と文化に触れる旅に出かけてみませんか。

【展示構成】

- I アートで旅する四国へんろ
- II 絵図・案内記で巡る四国へんろ
- III 記録された四国へんろの姿
- IV へんろ道標—伊予のへんろ道を歩く—



中務茂兵衛の遍路道標の拓本(個人蔵)

企画展関連講座

「へんろ石は語る」

日時 : 3月4日(日)

講師 : 喜代吉榮徳氏(元早稲田大学非常勤講師)

バスツアー「四国遍路の元祖・衛門三郎ゆかりの地を訪ねて」

日時 : 3月10日(土)

講師 : 滝口伸一氏(今治明德短期大学客員教授)

「企画展『四国へんろの旅』の見どころ」

日時 : 3月18日(日)

講師 : 今村賢司(当館学芸員)

※事前申込が必要です。詳しくは講座チラシ、博物館ホームページをご覧ください。

民俗

明治期の四国遍路絵馬



年代 明治17(1884)年
 サイズ 縦95cm、横189cm
 所蔵 宇佐八幡神社蔵(原資料)
 当館蔵(複製)

瀬戸内海の忽那諸島の四国本島側に野忽那島(松山市)があります。島内の宇佐八幡神社には明治17(1884)年の四国遍路絵馬が奉納されています。絵馬には男性5名、女性10名、女児2名の計17名のお遍路の姿が鮮明に描かれています。当時の遍路衣装は、現代の白装束でなく、縞や格子柄、紺木綿などの着物を着ていることがわかります。また、遍路道具を見てみると、頭に菅笠を被り、首に「奉納四国中」と書かれた札挟みをかけ、手甲で覆われた手には杖を持ち、脛に脚半を付けています。全員の菅笠の前側に書かれた「い」の文字は、伊予国の遍路を意味しているようです。下部には絵馬を奉納した17名の願主の名前が記されています。

この絵馬の作者は、島内出身の絵師・石崎嘉吉で、一人一人のお遍路の表情やしぐさをとらえ、四国遍路の旅の一場面を見事に描いています。同社には彼が描いた絵馬が他にも奉納されています。明治から昭和初期にかけて、松山周辺や鳥嶼部は、通過儀礼として若者遍路の習俗が盛んな地域でした。(専門学芸員 今村賢司)

民俗

おむつかご

竹でできた素朴なかごです。おむつを入れて、上におしゃれな布でもかければ、素敵なインテリアとして今でも活躍することでしょう。

ですが、この資料はきれいな「紙おむつ」を入れておくかごではなく、汚れた「布おむつ」をいれておくためのかごでした。

大正15年生まれの女性が、八幡浜市松柏で使用していたものです。日常の洗濯物はたらいで洗いましたが、おむつは汚れ物なので、このおむつかごの中に入れて近所の川へ行って洗濯していました。洗ったおむつは、家に戻るまでに、腕など体にかけて乾かすようにして帰ったとのことでした。

お正月の松の内は洗濯をしないことになっていましたが、おむつだけはどうしてもないので洗っていたとのことでした。日常の洗濯は、冬なら2~3日に1回程度で、毎日洗濯するわけではありませんでした。

資料にまつわる洗濯の様子や子育てのお話をお聞きした後は、もう「素朴なかご」と見ることはできません。おむつかごとともに、いきいきとした子育てのキオクも博物館へ寄贈していただきました。

(主任学芸員 松井 寿)



年代 昭和時代
 サイズ 直径 30.5cm 高さ 25.5cm
 所蔵 当館蔵

企画展

四国へんろの旅

— 絵図・案内記と道標 — 関連イベントのご案内

会期中[2月21日(火)~4月8日(日)]は、楽しいイベントがもりだくさん♪

れきはく☆へんろ スタンプラリー

日 時/企画展会期中 9:00~17:30

場 所/常設・企画展示室

参加費/企画・常設展共通券(当日券)が必要です。



匂袋をつくろう!

日 時/企画展会期中の土曜・日曜・祝日 13:00~16:00

場 所/こども歴史館

材料費/300~500円程度

定 員/各日先着30名

八十八ヶ所ぬりえ

日 時/企画展会期中の

土曜・日曜・祝日

9:00~17:00

場 所/こども歴史館

参加費/無料



道しるべどら焼きをつくろう

日 時/企画展会期中の土曜・日曜・祝日

13:00~15:00

場 所/エントランスホール

材料費/300円(2個)

定 員/各日先着30名

※友の会会員一回無料



絵でめぐる八十八ヶ所

日 時/企画展会期中 9:00~17:30

場 所/エントランスホール

こども歴史館 DE

おひなさまWSまつり

① ガラス玉ブレスレットをつくろう

② 真珠ストラップをつくろう

③ 髪飾りをつくろう

日 時/企画展会期中の土曜・日曜・祝日

①②9:00~12:00 ③13:00~16:00

場 所/こども歴史館

材料費/①③各200円 ②300円

定 員/①②③全て各日先着30名

※友の会会員一回無料



※各イベントの事前申込は受付けておりません。 ※イベント・ワークショップの実施場所は変更になる場合がございます。

れきはく
の
あしあと



開館 17 周年記念イベントを終えて

平成 23 年 11 月 13 日(日)、開館 17 周年を迎えたれきはくでは、講演会や餅まき、れきはく市等、各種イベントを開催しました。餅まきの会場では、整理券を求めて、長蛇の列ができるほどの盛況ぶり、多くのお客様にお楽しみいただきました。れきはく市では、ハンドメイド雑貨や、南予のご当地グルメのお店が並び、買い物を楽しむお客様で賑わっていました。午後からは井伊春樹名誉館長による講演会を開催し、「源氏物語はなぜ今も読まれるのか」をテーマに、源氏物語の魅力を語っていただきました。

当日は、1,963 人の方が来館されました。多くみなさまのご来館、誠にありがとうございました。

平成 23 年度 歴史文化講座

歴史・文書講座 13:30~15:00

講座番号⑧「中世の宇都宮氏についてー下野国との関りを中心にー」

日 時:1月22日(日)
講 師:土居聡朋(当館学芸員)

講座番号⑨「幕末維新期の文書を読む①」

日 時:2月26日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸員)

講座番号⑩「幕末維新期の文書を読む②」

日 時:3月11日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

講座番号③企画展関連

「へんろ石は語る」

日 時:3月4日(日)
講 師:喜代吉榮徳氏(元早稲田大学非常勤講師)

講座番号④企画展関連

「企画展『四国へんろの旅』の見どころ」

日 時:3月18日(日)
講 師:今村賢司(当館学芸員)

体験講座

講座番号⑭企画展関連

「四国遍路の元祖

衛門三郎ゆかりの地を訪ねて」(定員30名)

日 時:3月10日(土) 9:00~17:00
講 師:滝口伸一氏(今治明德短期大学客員教授)
参加費:3,500円程度

講座番号⑮「和綴本をつくろう」(定員20名)

日 時:3月17日(土) 13:30~15:30
講 師:安藤久美子(当館学芸員)
材料費:500円程度

【講座の申込方法】

希望する講座番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前、体験講座は2週間前までにはがきなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

歴史文化博物館友の会 会員募集

3月1日より平成24年度新規会員を募集します。

友の会は、愛媛の歴史や民俗について、学び親しむ人たちの集まりです。

《会員特典》

- 常設展と企画展を無料で観覧できます。
- 「会報」や「歴博だより」などをご自宅にお届けします。
- 友の会主催行事に参加できます。
 - ①研修旅行(年1回)
 - ②現地学習会(年2回)
 - ③クラブ活動(民俗、土器ドキ、パソコン、裂織、古文書)
 - ④特別展解説会
- 季節体験イベントの材料費が無料もしくは割引となります。
- 博物館の刊行物が割安で購入できます。

《入会方法》

- 1.会費をご持参の上、歴史文化博物館に直接お申込みください。
- 2.郵便振替払込取扱票に、名前・住所・電話番号・会員の種類を記入の上、郵便局で会費をお振り込みください。

口座番号 01610-0-45873

愛媛県歴史文化博物館友の会

(ご入金を確認後、会員証をお送りいたします。)

《年会費(4月~翌3月)》

【小中学生会員】 500円
【高校生会員】 1,000円
【大人会員】 3,000円
【家族会員】 4,000円
【賛助会員】 10,000円



《お問い合わせ》

友の会事務局 電話(0894)-62-6222

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30 (入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日 (下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

| | 区分 | 一般 | | 団体 |
|------|----|-------|-----------|-------|
| | | 小・中学生 | 大人(高校生以上) | 65歳以上 |
| 常設展 | | 無料 | 500円 | 400円 |
| テーマ展 | | 無料 | 250円 | 200円 |

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

◆展示スケジュール 2012.1 - 2012.4 ◆

| 2012 | 常設展「えひめの歴史と文化」 | 企画展 |
|------|-----------------------------------|---|
| 1 | ▶「新春イベント」1月2日(祝・月)・1月3日(火) | |
| 2 | ▶森林環境税活用事業「森の博物館」2月4日(土)~2月19日(日) | |
| 3 | | 企画展「四国へんろの旅-絵図・案内記と道標-」 2月21日(火)~4月8日(日) |
| 4 | | |

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2012.1-3 休館日

| 1 月 | | | | | | | 2 月 | | | | | | | 3 月 | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | 1 | 2 | 3 | | | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 29 | 30 | 31 | | | | | 26 | 27 | 28 | 29 | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |



愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 イヨテツ ケータースービス株式会社

〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成24年1月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館